

Japanese Literature—— 12



現代日本の文学

山本有三集

〈監修委員〉

伊藤 整

井上 靖

川端 康成

三島 由紀夫

〈編集委員〉

足立 卷一

奥野 健男

尾崎 秀樹

北 杜 夫

(五十音順)

学習研究社

現代日本の文学

12

山本有三集

全50巻

分割払価格 39,000円

現金価格 35,500円

昭和45年5月1日 初版発行

昭和48年2月1日 九版発行

著者 山本有三

発行者 古岡秀

発行所 株式会社 学習研究社

東京都大田区上池台4-1

郵便番号 145 振替東京 429

電話 東京(720)1111 (大)

印刷 大日本印刷株式会社

晩印刷株式会社

製本 文勇堂製本工業株式会社

本文用紙 三菱製紙株式会社

表紙クロス 東洋クロス株式会社

製函 日本紙パルプ商事株式会社

*この本に関するお問合せやミスなどがありましたら

文書は東京都大田区上池台4丁目40番5号(〒145)

「ユーザー・サービス本部事務局」現代日本の文学係

電話(03)720-1111 内線352,353か、東京

727-1601までお願いします。

昭和 1978 Printed in Japan

0393-164612

山本有三文学紀行

栃木市大平山の文学碑



「……人生は死ぬことじゃない。生きることだ。これからの者は、何よりも生きなくてはいけない。自分自身を生かさなくてはならない。たったひとりしかない自分を、たった……」

（「路傍の石」）

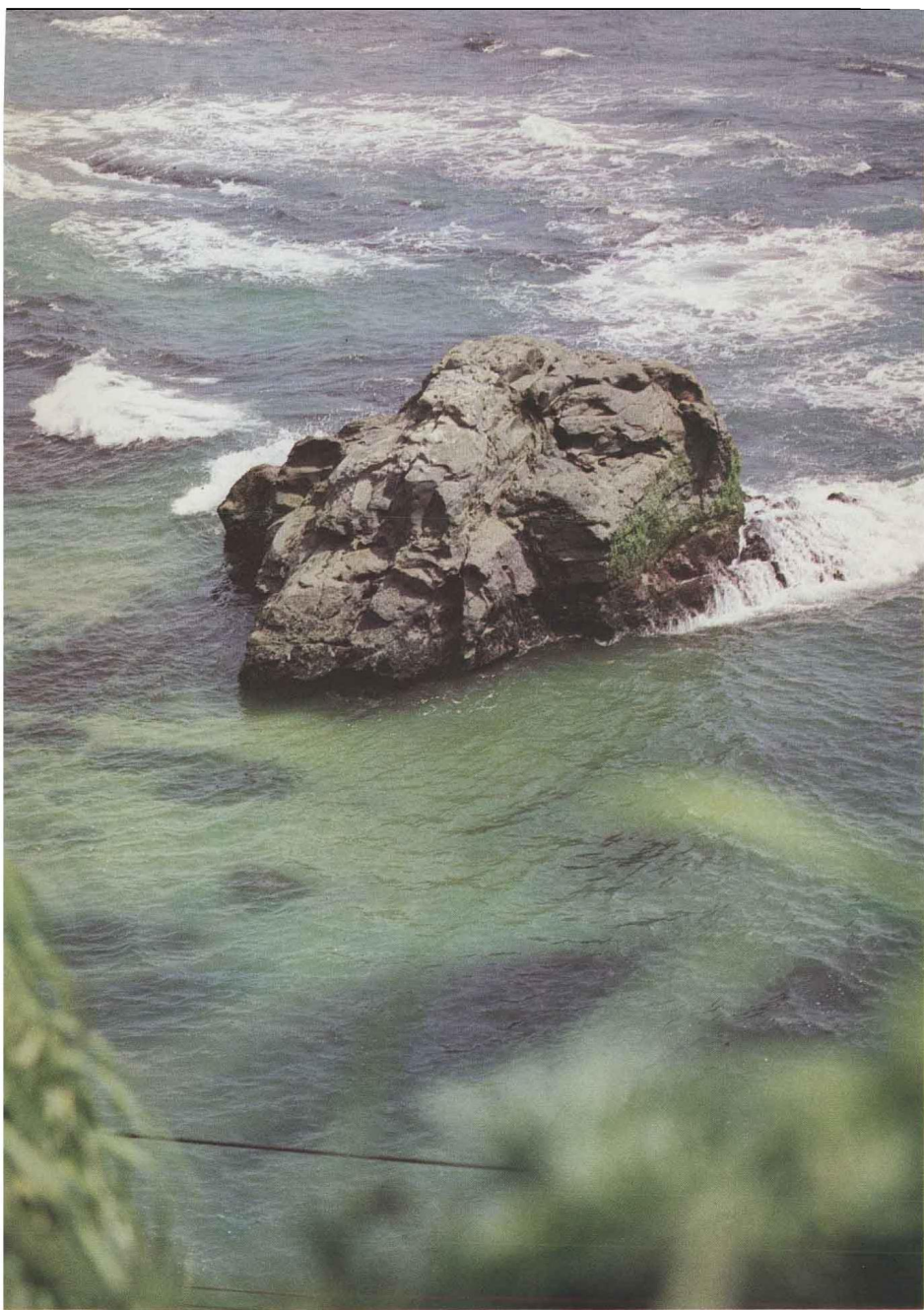




上 文学碑がある大平山県立公園(栃木市郊外)
右 栃木市内を貫流する巴波川。かつてはこの
川を利用する舟運が盛んだった。〔「路傍の石」〕



千葉県大原町の舟着き場（「真実一路」）



白いスズメ岩に太平洋のあら波が折りかさなって碎ける……（「真実一路」）
千葉県大原海岸のスズメ岩 強い波の力で鳥の姿からだいぶ形が変わった。

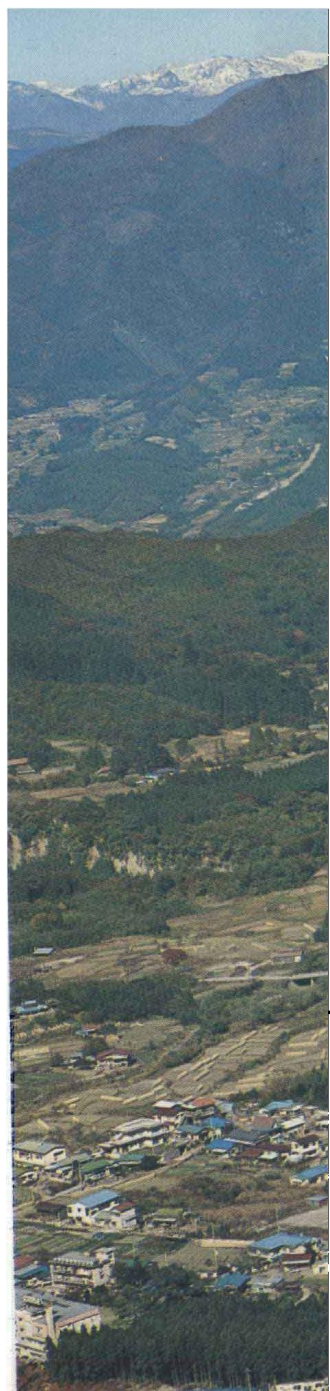


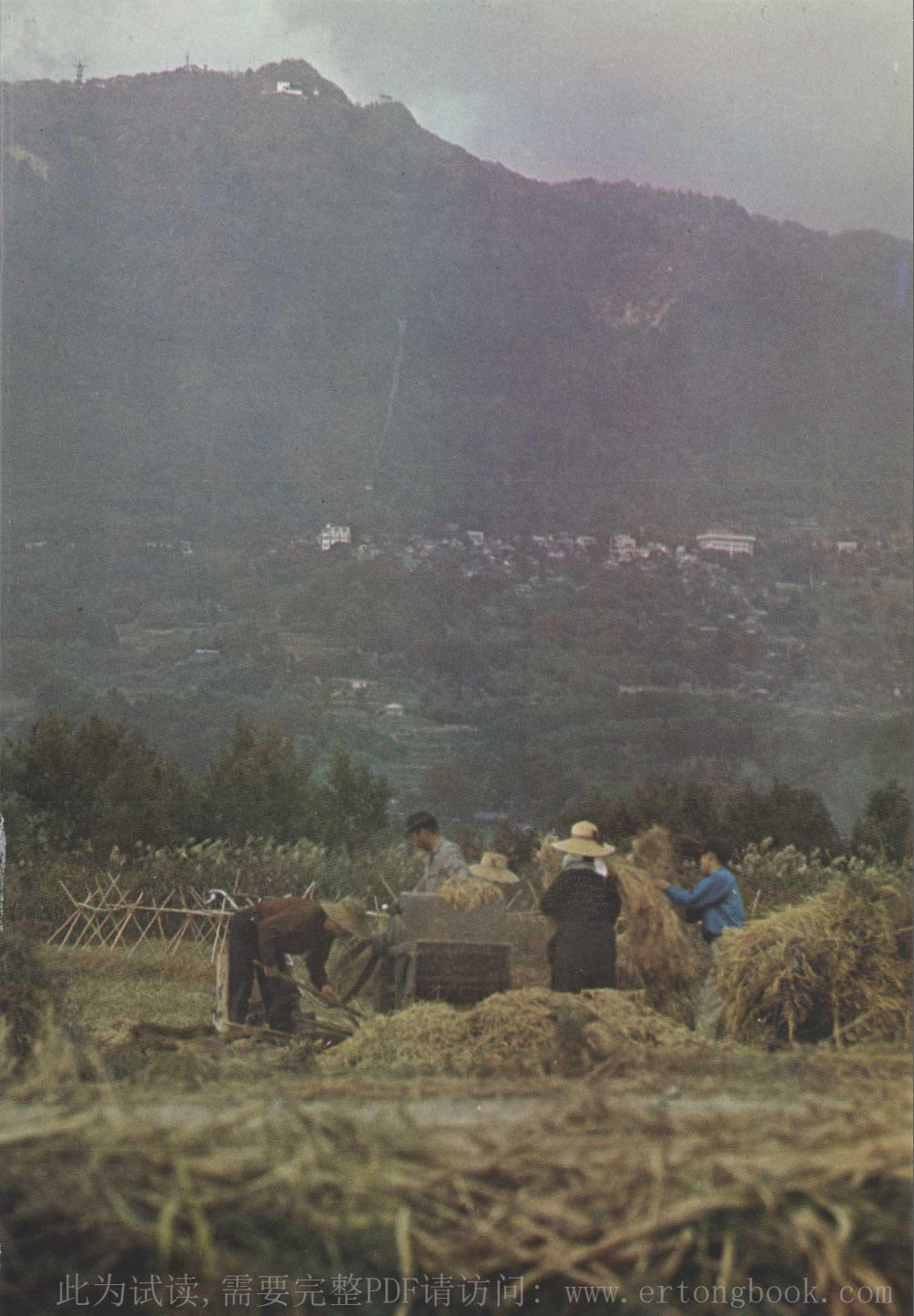


群馬県榛名富士と榛名
湖の晩秋（「真実一路」）

ここから見ていると、高さはアカギ山と、たいしてちがわないように見えるけれども、白くなっている様子から判断すると、遠い所にある、よほど高い山なんだろう。

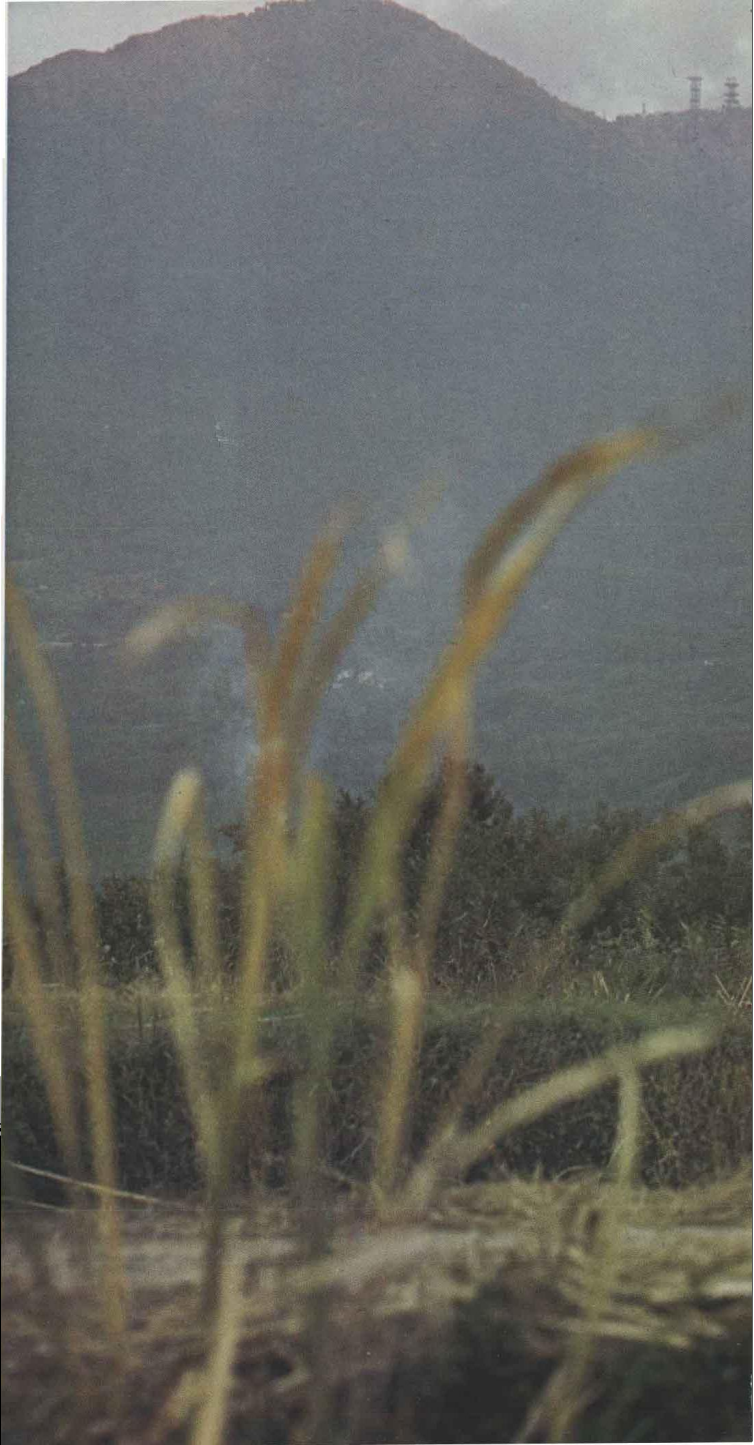
群馬県伊香保温泉より谷川連峰を望む（「真実一路」）



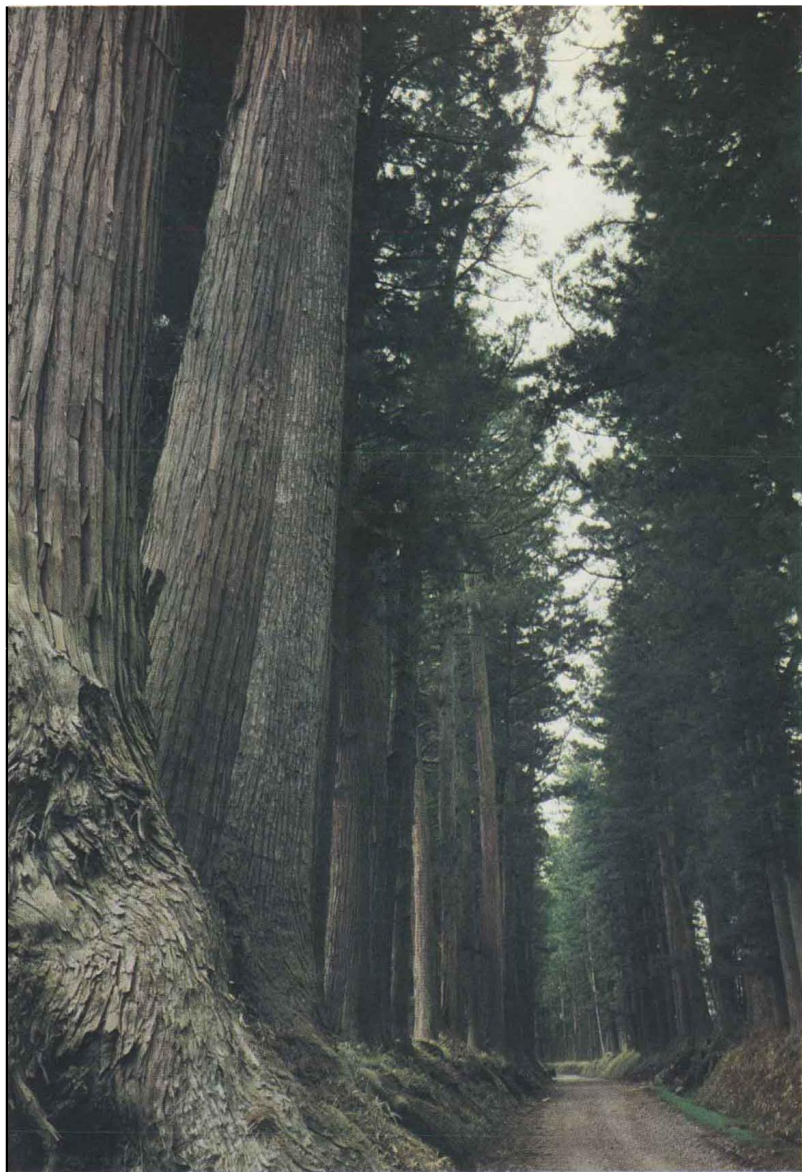


茨城県筑波山

「ねえ、先生。『つくば山、は山、しげ山しげけれど』って歌がありましたね。」
「ああ、なんだかそんな歌があった。」
「そのあと覚えていらつしやいませんか？」
「覚えていない。——しかし、じつにきれいだな。」（「女の一生」）

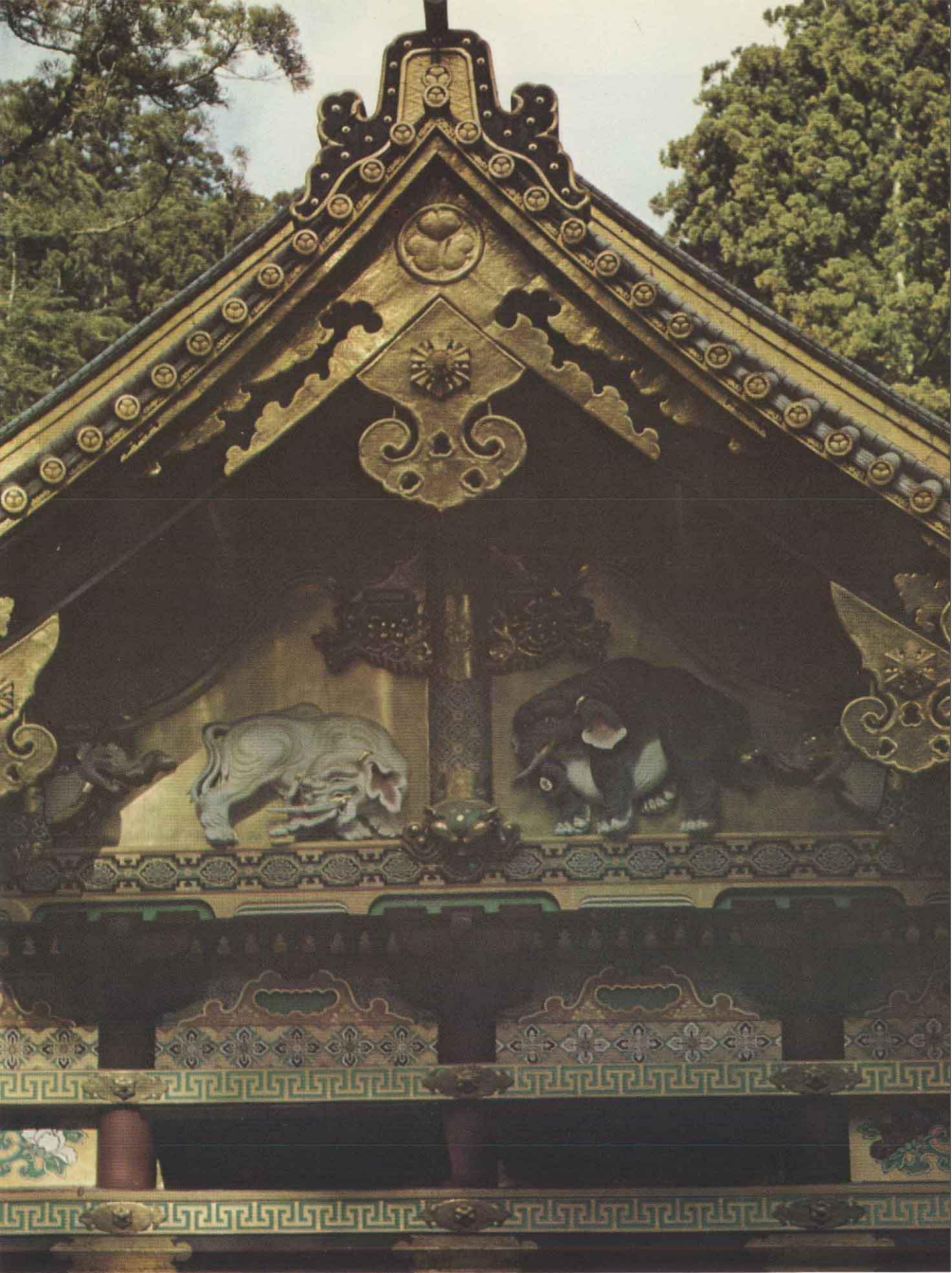




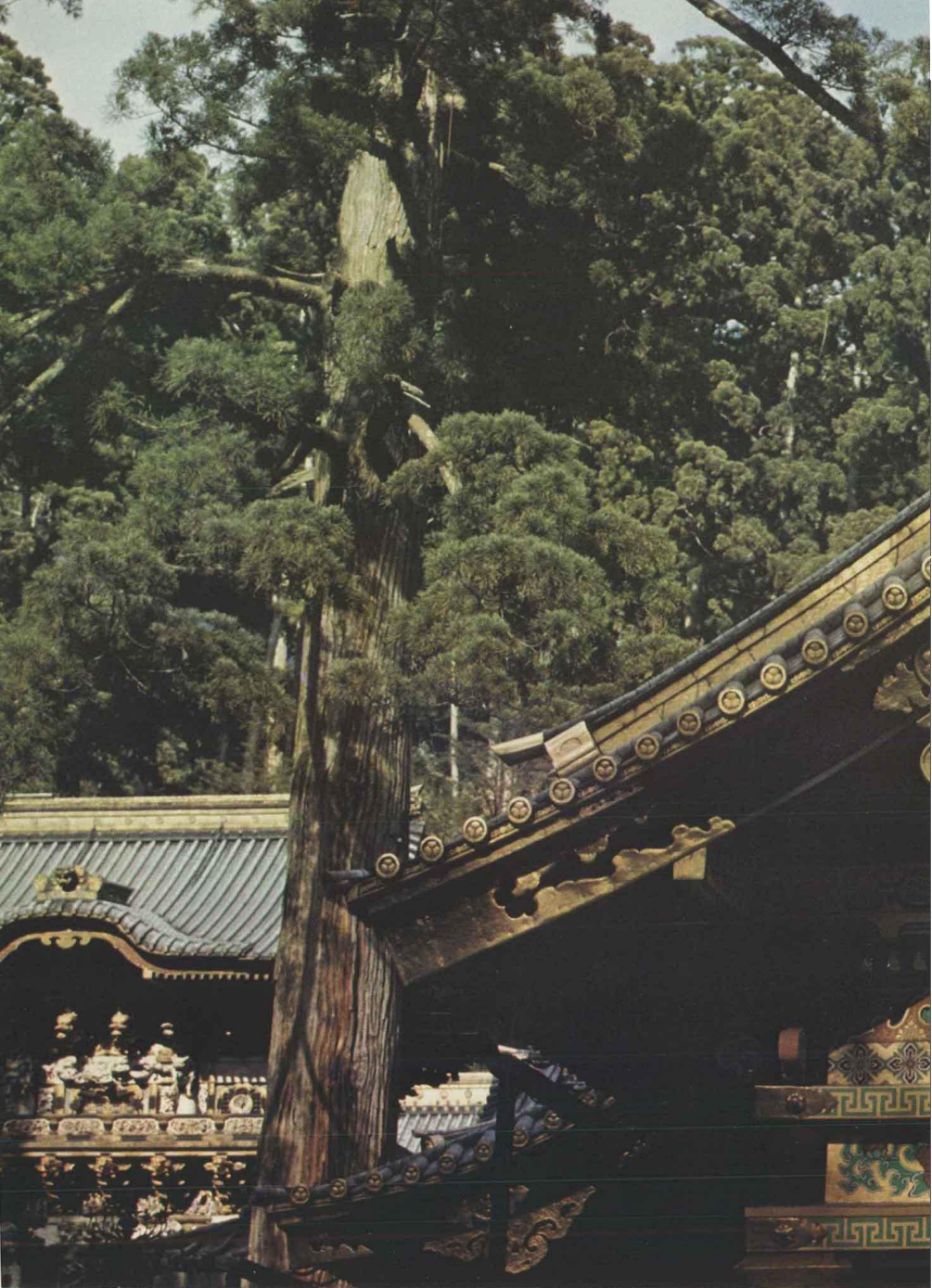


日光街道の杉並木（「女の一生」）

箱根権現と芦ノ湖（「女の一生」）



……スギの緑と漆の赤と、金銅の光の一大交響楽である。（「女の一生」）



日光 東照宮

